

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 29 日(2023.9.29)

【公開番号】特開 2022-166312(P2022-166312A)
【公開日】令和 4 年 11 月 1 日(2022.11.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-201
【出願番号】特願 2022-134533(P2022-134533)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 21 日(2023.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体枠に装着される遊技盤を備えた遊技機において、
前記遊技盤は、
遊技球が流下可能な球流下領域が形成され、透過性を有する流下領域部と、
前記流下領域部の裏面側に設けられ、前記流下領域部を透して視認可能な装飾面を有する裏装飾部と、
前記流下領域部の裏面側で前記裏装飾部を支持する特定取付部材と、
を具備し、
前記特定取付部材は、所定の本体部と取付孔とを有し、前記取付孔に取付ビスが挿通することで前記流下領域部の裏面側で固定されるものであり、
前記裏装飾部は、前記流下領域部の裏面に貼り付けられることなく、前記特定取付部材における前記本体部の前面と前記流下領域部の裏面との間に配置され、
さらに、前記特定取付部材は、透過性を有するように形成され、
さらに、前記裏装飾部の後方には発光可能な発光部が設けられており、
前記発光部は前記裏装飾部によって視認困難にされるように配置され、
前記特定取付部材における本体部の前面と前記流下領域部の後面との間には、前記裏装飾部の厚さよりも大きい隙間が形成される
ことを特徴する遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機のような遊技機において、前方に遊技領域が設けられる透明な遊技パネルの後面に、絵柄が印刷される装飾フィルムを貼り付けることで、遊技パネルを通して見える装飾フィルムの絵柄によって遊技領域内を装飾するようにしたものが提案されている(例えば、特許文献 1)。

50

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2016 - 86943 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来のような遊技機では、装飾フィルムの皺や亀裂が生ずることによる見栄えの悪さから、遊技興趣の低下を招く虞があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊技領域内の見栄えを良くして遊技者の興趣の低下を抑制させることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、
本体枠に装着される遊技盤を備えた遊技機において、
前記遊技盤は、
遊技球が流下可能な球流下領域が形成され、透過性を有する流下領域部と、
前記流下領域部の裏面側に設けられ、前記流下領域部を透して視認可能な装飾面を有する裏装飾部と、
前記流下領域部の裏面側で前記裏装飾部を支持する特定取付部材と、
を具備し、
前記特定取付部材は、所定の本体部と取付孔とを有し、前記取付孔に取付ビスが挿通することで前記流下領域部の裏面側で固定されるものであり、
前記裏装飾部は、前記流下領域部の裏面に貼り付けられることなく、前記特定取付部材における前記本体部の前面と前記流下領域部の裏面との間に配置され、
さらに、前記特定取付部材は、透過性を有するように形成され、
さらに、前記裏装飾部の後方には発光可能な発光部が設けられており、
前記発光部は前記裏装飾部によって視認困難にされるように配置され、
前記特定取付部材における本体部の前面と前記流下領域部の後面との間には、前記裏装飾部の厚さよりも大きい隙間が形成される
ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として以下の手段を参考的に開示する。

手段 1：

10

20

30

40

50

遊技機の所定の位置に設けられ、不正行為を検知可能な不正検知手段と、
前記不正検知手段による検知に基づいて不正行為を判定可能な不正判定手段と、を備え

、
当該遊技機の状態として、第 1 判定状態と、該第 1 判定状態では不正行為と判定されないものを不正行為として判定可能な第 2 判定状態とを有し、

前記第 1 判定状態と前記第 2 判定状態は、電源投入の際に所定のスイッチ部に対するスイッチ操作が行われることに応じて設定されるものであり、

電源投入の際に前記スイッチ部に対するスイッチ操作が行われて前記第 2 判定状態とされた場合には、その後前記スイッチ部に対するスイッチ操作が行われたとしても前記第 2 判定状態からの変更されないものとされ、

10

遊技進行過程の特定期間で電断し、再び電源投入された際に前記スイッチ部に対するスイッチ操作に基づき前記第 1 判定状態が発生した場合には、新たに前記スイッチ部に対するスイッチ操作が行われて前記第 2 判定状態に変更されるまでの間、前記特定期間に復帰させずに遊技進行を不可能に制御する

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 0 9】

このように、本発明によれば、遊技領域内の見栄えを良くして遊技者の興趣の低下を抑制させることが可能な遊技機を提供することができる。

30

40

50